

01 有限会社若松屋

所在地 三重県伊勢市河崎1丁目9番28
事業内容 食料品製造業
従業員数 41名

HPは
こちら



テーマ データ活用による売上拡大と業務効率化への挑戦

DXチャレンジの きっかけ

セミナーでDXの支援が無償で受けられることを知ったのがきっかけです。これまで紙ベースの受発注管理に課題を感じており、デジタル化による効率化を模索していました。以前からネット通販も行っており、在庫管理やデータの一元化、工場や店舗ごとにデジタル化の試みを行っていましたが、さらなるコスト削減や働き方改革の観点から今回の支援を活用しました。

具体的な課題

- 紙ベースの受発注管理により
業務負担が増大
- データ活用による売上拡大の可能性を模索
ネット通販における在庫管理やデータの一元化、工場や店舗ごとにデジタル化の試みを行っていたが、データ分析の方法やツールを決めかねていました。
- 繁忙期の業務がDX推進の障害に
専任の担当を配置するのは難しく、既存の業務と並行しながら進めているため、繁忙期と重なりとDXに集中して取り組むのが難しかったです。



伴走支援取組内容

Googleアナリティクスを活用し、 ECサイトのデータ分析を開始

顧客リサーチ
従来はアナログで
行っていた

データ
分析

コーポレートサイトの修正
ECサイトのTOPページから
オンラインショップへの導線
を目立たせました。

今後の
展望

データ活用の意識向上

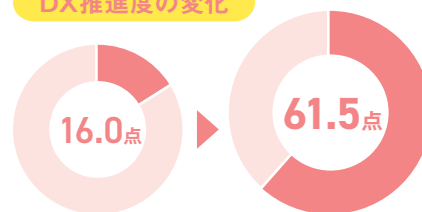
顧客リサーチをデジタル化し、 より戦略的なアプローチが可能に

従来はアナログで顧客リサーチを行っていましたが、デジタルデータの活用が重要であると実感しました。

得られる効果(未来予測)

- 今回の支援で、ECサイト遷移率が **2倍に向上!**
(1.4% → 2.8%)
- 今後は、データ分析の基盤を整備し、売上拡大施策を実施

DX推進度の変化



企業担当者の声

まだ大きな成果は出ていませんが、データを分析して戦略を立てる重要性を再認識しました。一方、繁忙期と重なり、集中して取り組むのが難しかったことが課題でした。今後はデジタル化を売上につなげていくことが重要であり、避けては通れないと考えています。年内には新しい動きを始め、人材も増やしていきたいです。

今後DXにチャレンジする企業へのメッセージ

無償の支援を活用し、第三者の意見を取り入れることは非常に重要であり、支援に参加する価値はあると思います。DXは一步步進めていくものなので、まずは挑戦してみることをおすすめします。